

第46回全国町並みゼミ小樽大会プレイベント

シンポジウム「これからの歴史まちづくりを考える」

日時 6月3日(土)13時～18時

会場 東京文化財研究所地下セミナー室

プログラム

12時45分 開場

13時 開会 谷中の歴史まちづくり 椎原晶子・NPO法人たいとう歴史都市研究会理事長
まちあるきガイドンス 中村文美・NPO法人たいとう歴史都市研究会副理事長
谷中まちあるき(90分)

14時45分 休憩(15分)

15時 シンポジウム「これからの歴史まちづくりを考える」

趣旨説明 福川裕一(NPO法人全国町並み保存連盟理事長・千葉大学名誉教授)

15時5分 講演「わが国の歴史まちづくりのあゆみ」

西村幸夫(PO法人全国町並み保存連盟常任理事・國學院大學観光まちづくり学部長)

15時35分 小樽の歴史まちづくりの取組み

廣瀬久也(建設部新幹線・まちづくり推進室 主幹(景観まちづくり担当))

15時55分 先進地に聞く

金沢市 川上光彦(NPO法人金澤町家研究会理事長・金沢大学名誉教授)

川越市 加藤忠正(株)百足屋 取締役、

元川越市都市計画部参事・前(公社)小江戸川越観光協会専務理事)

横浜市 菅孝能((株)山手総合計画研究所取締役会長)

コーディネーター 下間久美子(國學院大學教授・元文化庁主任調査官)

コメンテーター 福川裕一(前掲)

18時 終了後、ロビーで懇親会(19時30分終了予定)

参加者のみなさんへのお願い

- ・まちあるきの間は、お荷物はセミナー室に置いていただいて結構です。貴重品はお持ちください。
- ・谷中には多くの観光客がいらっしゃいます。通行のじゃまにならないよう、また車にもお気をつけください
- ・報告用のスライドは配布しません。後日、全国町並み保存連盟のHPで公開する予定です
- ・録音・録画はしないでください
- ・写真撮影はフラッシュなしでお願いします
- ・主催者で記録のために、個人が特定できない範囲で撮影をします。都合の悪い方はおしらせください

講演者紹介

西村 幸夫 福岡市生まれ

明治大学助手、東京大学教授を経て、2020年より現職。この間アジア工科大学助教授、MIT・コロンビア大学客員研究員、日本イコモス国内委員会委員長などを歴任。専門は、都市計画・都市保全計画・、市民主体のまちづくり。『都市から学んだ10のこと- まちづくりの若き仲間たちへ』2019は、退官講義を編集、『都市保全計画-歴史・文化・自然を活かしたまちづくり』2004は、理論や制度・諸外国の状況などを豊富な事例と図版で詳説。

廣瀬 久也 北海道砂川市出身

1993年小樽市役所に入庁、公共施設の設計・現場監理、建築審査・検査、まちづくりに関する企画調整などの業務に関わり、2019年より歴史的建造物、歴史まちづくり法、景観及び屋外広告物に関する業務を担当、日本遺産に関する業務を兼務。北海道建築士会ではまちづくり委員会に所属。第46回全国町並みゼミ小樽大会では実行委員会で第1分科会などを担当する。

川上 光彦 金沢市生まれ

金沢大学助教授、教授を経て現職。都市計画を担当し、地域における都市計画やまちづくり活動に関わる。石川県都市計画審議会会長、石川県開発審査会会長、公益社団法人金沢職人大学校など歴任。『金澤町家-改修と活用-』（編著）、NPO法人金澤町家研究会2021では、京町家とは異なる金澤町家の特徴や活用の方法をわかりやすく解説、活用事例も紹介されている。他に『地方都市の再生戦略』（編著）2013、など。

加藤 忠正 川越市出身

1978年川越市役所に入庁以来、都市計画、都市景観、美術館、文化財、建築審査・検査などを担当。公私ともに川越の町並み保全に関わる。退職後、公益社団法人小江戸川越観光協会専務理事。NPO法人アーバンデザイン研究体理事など。2021年、空き店舗になっていた「百足屋(むかでや)」（川越市指定有形文化財）をカフェ、地域の名産品販売、茶道・華道・書道・日本舞踊などの日本文化の体験教室を開く場としてオープンした。

菅 孝能 山口県生まれ、鎌倉育ち

(株)大高建築設計事務所、(株)和設計事務所を経て、1983年(株)山手総合計画研究所設立、2019年より現職。全国各地で公共施設等の空間設計・都市デザインに携わる傍ら、鎌倉風致保存会や湘南邸宅文化ネットワーク協議会やNPO法人日本都市計画家協会などさまざまなまちづくり活動に参加。かながわヘリテイジマネージャー協会や神奈川県有形登録文化財所有者の会などの顧問もつとめる

下間 久美子 山形県生まれ

ユネスコ世界遺産センター、ユネスコ・バンコク事務所、文化庁文化財調査官、文部科学技官を経て、2022年より現職。専門は、文化財、都市保全、景観保全。文化庁では伝統的建造物群保存地区や文化的景観などを担当。歴史的町並み制度成立史研究会では、伝建制度などの創設や運用に関わるオーラルヒストリーに取り組む。

福川 裕一 千葉県市川市生まれ

明治大学助手、千葉大学教授を経て現職。専門は都市計画、歴史的環境の保全。学生時代から川越の歴史まちづくりに関わり、この度、35年ぶりの「町づくり規範」の改定を終えたばかり。中心市街地再生をテーマに、千葉県香取市佐原、滋賀県長浜市、香川県高松市丸亀町、宮城県石巻市、つ世界遺産のヴェトナム・ホイアンなどの調査研究やまちづくりに関わる。

資料の紹介

・文化庁・伝統的建造物群保存地区

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/hozonchiku/>

「重要伝統的建造物群保存地区一覧」と「各地区の保存・活用の取組み」

重要伝統的建造物群保存地区の選定

伝統的建造物群保存地区制度の実務の手引き

伝統的建造物群の耐震対策

伝建地区を見守る人々～伝建歳時記(連載)

全国伝統的建造物群保存地区協議会

・歴まち情報サイト

<https://www.nilim.go.jp/lab/ddg/rekimachidb/>

2008年に制定された「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」に基づき、国の認定を受けた都市概要や歴史まちづくりの取組を紹介しています

・国土交通省・歴史まちづくり